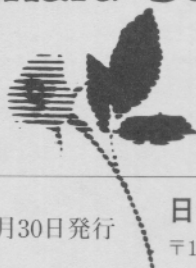


Richard Strauss Gesellschaft Japan



会報 (No.52)

2001年11月30日発行

日本リヒャルト・シュトラウス協会

〒107-8430 東京都港区元赤坂1-2-3東京サントリービル内 Tel.03-3589-3920

2001年度会員総会(第93回例会)の報告

秋らしい爽やかな好天に恵まれた10月15日(月)、晩の6時30分から東京赤坂のサントリー小ホールで、2001年度会員総会ならびに第93回例会(特別演奏会)が行われました。議事進行役の田辺事務局長が開会の辞を述べたあと、会長のサントリー株式会社社長佐治信忠氏からのメッセージが、田辺事務局長によって読み上げられました。続いて、大賀典雄理事長のご挨拶。協会の活発な活動を喜ぶとともに、今後ますますの発展を期待するという内容のお言葉でした。つぎは名誉会長サヴァリッシュさんのご挨拶。いつもながらの張りのある力強いお声で、毎年の総会への出席と出演を楽しみにしていच्छるること、ミュンヘンのシュトラウス研究所の有意義な活動のことなどについて、お話しされました。ふだんは音楽ジャーナリストの真鍋圭子さんが通訳をしてくださるところですが、今年は真鍋さんは来日中のウィーン・フィルの地方公演のお仕事で出席できず、専務理事の原田茂生さんが通訳を務めてくださいました。

続いては、例年のように、総会の議事に入り2000年度の事業報告ならびに収支決算、2001年度の事業計画ならびに収支予算、それに役員変更案が協議され、会場の拍手によって承認されました。

短い休憩のあと、いよいよ待望の特別演奏会。今年は、サヴァリッシュさんとの共演のために折しも来日中のソプラノのマリアーナ・リボヴシェクさん、テノールのヘルベルト・リップルトさんがシュトラウスの歌曲をたっぷり歌ってくださるという豪華な内容でした。ピアノはもちろんサヴァリッシュさんで、各曲にコメントも付け加えてくださいました。

リボヴシェクさんの歌は、深みと艶のある声自体の魅力もさることながら、言葉のひとつひとつをかみしめるようにして歌う歌唱に、シュトラウス歌曲の神髄を聴く思いがしました。リップルトさんは甘く輝かしいテノールの美声で、シュトラウス歌曲の若々しい躍動感を伝えていて見事でした。そして、サヴァリッシュさんのピアノ伴奏の素晴らしさは、申し上げるまでもありません。とりわけ最後の『明日に』では、前奏のピアノの美しさが夢見るような思いにさせられたことでした。

演奏会のあとは、近くのフランス・レストラン《ル・コンセール》に移って、親睦パーティー。

サヴァリッシュさんは連日の演奏会でさすがにお疲れのご様子でご出席はいただけませんでしたが、歌手のお二人は出席され、おいしい料理とお酒(例年と同様、サントリー株式会社のご好意によるもの)で、楽しい歓談のひとつきを過ごしました。(参加者120名)

特別演奏会プログラム

1. ひそやかな誘い Heimliche Aufforderung op.27-3
2. 万霊節 Allerseelen op.10-8
3. セレナーデ Ständchen op.17-2
4. 広げたまえ ほくの頭上に Breite über mein Haupt op.19-2
5. もし… Wenn op.31-2
6. 憩え 我が魂よ Ruhe, meine Seele op.27-1
7. すべての私の思い All mein Gedanken op.21-1
8. 愛を抱いて Ich trage meine Minne op.32-1
9. きみは我が心の冠 Du meines Herzens Krönelein op.21-2
10. 黄金の充溢の中を In goldener Fülle op.49-2
11. ツェツィーリエ Cäcilie op.27-2
12. 明日に Morgen op.27-4 (アンコール)

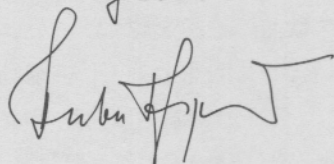
ソプラノ: マリアーナ・リポヴシエク Marjana Lipovsek

テノール: ヘルベルト・リッペルト Herbert Lippert

ピアノ: ヴォルフガング・サヴァリッシュ Wolfgang Sawallisch

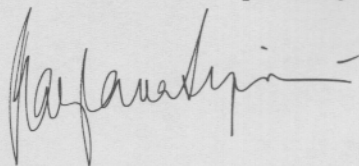
【 1, 2, 6, 8, 11, 12 : リポヴシエク / 3, 4, 5, 7, 9, 10 : リッペルト 】

Der Richard Strauss'
Gesellschaft herzlich
gedankt

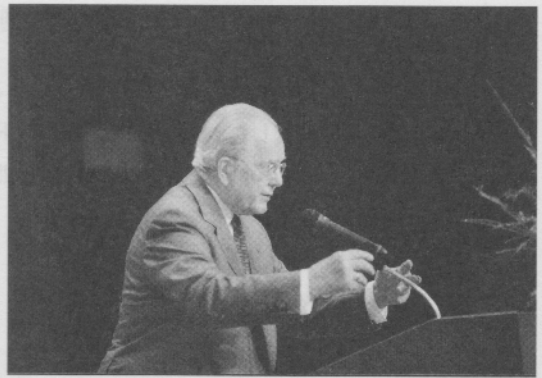


151001

all the best
to the Strauss-Society!



15-10-2001



■2001年度会員総会（第93回例会）

■大賀理事長、2つの名誉ある受勲

大賀典雄理事長がふたつの名誉ある勲章を受けられました。ひとつはドイツ連邦共和国功労勲章大功労十字星章で、これはベルリン、ポツダム広場へのソニー・センター建造をはじめとして、大賀さんが長年にわたりドイツのために果たされた大きな功績に対して授与されたものです。もうひとつは日本政府からの勲一等瑞宝章で、最高の名誉ある勲章です。協会として、心からお祝いを申し上げます。